

## 第133回全国大学国語教育学会 福山大会のご案内（第2次）

第133回全国大学国語教育学会（福山大会）の第2次案内をお送りいたします。  
多くの皆様のお越しをお待ちしております。

### ◆お願いとお知らせ

#### ○学会参加

事前申し込み、ご協力をお願いいたします。学会参加登録、弁当、懇親会の事前申込の締切を10月10日(火)に設定しています。申込は、Web上でシステムにて受け付けます。

大会申込先： <a href="http://www.gakkai.ac/JTSJ/">http://www.gakkai.ac/JTSJ/</a> （学会HP参照）
申込諸費用：学会参加費 [会員] <u>事前：3,000円、当日：4,000円</u>
[非会員] <u>事前：3,500円、当日：4,000円</u>
懇親会費 [一律] 6,000円
弁当（事前のみ）1日目・2日目：各日1,000円

#### ○宿泊

ホテル等については、大会事務局から案内をしませんので、ご了承下さい。なお、学会会期中、福山市内で、小規模ですがいくつかのスポーツ競技会が予定されており、宿泊予約が予想されます。予約は早めに行われることをお勧めします。

#### ○会場案内

プログラムをご参照下さい。

#### ○プログラムの確認

発表者の方は、同封のプログラムのお名前、ご所属、発表題目をご確認ください。誤りがありませんでしたら、大会ヘルプデスクまでご連絡ください。

#### □編集委員会・常任理事会

編集委員会は、11月3日（金）13:00-17:30に、福山ニューキャッスルホテル（JR福山駅南口より西へ徒歩3分）・「梅の間」にて、また常任理事会は同日18:00-21:00に、同室にて行われます。

#### □学会事務局による弁当の準備

理事会参加の役員の方々、シンポジウム・課題研究発表・公開講座に登壇される先生方、研究部門委員会参加の先生方の弁当は、大会事務局にて準備いたします。

### ◆お問い合わせ（できるだけメールにてお願いいたします）

#### \*学会参加・原稿投稿・諸費用に関すること

全国大学国語教育学会大会ヘルプデスク

E-mail: [jtsj-desk@bunken.co.jp](mailto:jtsj-desk@bunken.co.jp) FAX: 03-5227-8632

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5アカデミーセンター

#### \*福山大会に関すること

福山大会事務局

〒721-0964 福山市港町2-19-1

福山市立大学教育学部 藤原顕

E-mail: [a-fujiwara@fcu.ac.jp](mailto:a-fujiwara@fcu.ac.jp)

TEL: 084-999-1087（藤原顕研究室直通）

# 第133回 全国大学国語教育学会 福山大会 プログラム

1. 日時 2017年11月4日(土)～5日(日)
2. 会場 福山市立大学港町キャンパス(〒721-0964 広島県福山市港町2-19-1)
3. 後援 広島県教育委員会 福山市教育委員会
4. 日程

## <第1日目 11月4日(土)>

8:45 9:30~12:10/12:40 12:50~13:50 14:00~15:00 15:10~17:30 18:30

受付	自由研究発表	昼食 理事会	総会	シンポジウム	移動	懇親会
----	--------	-----------	----	--------	----	-----

## <第2日目 11月5日(日)>

9:00 9:30~12:00 12:10~12:50 13:00~16:10/16:40

受付	課題研究発表	昼食 研究部門会議	自由研究発表 公開講座 ラウンドテーブル
----	--------	--------------	----------------------------

## 5. プログラム

### <第1日目>

自由研究発表 研究棟 1・2・4階 第1～11会場 9:30-12:10/12:40 \*3題発表後10分間休憩

#### ■第1会場 研究棟1階 中講義室A 司会 望月善次(元岩手大学) 上谷順三郎(鹿児島大学)

- 1 伝記を国語授業で読むことの探究—小学5年『レイチェル＝カーソン』の比喩読みの学習の考察から  
小川高広(上越市立高志小学校)
- 2 文学教育の今日的課題—『城の崎にて』の〈教材価値〉をめぐって  
野田秀樹(山梨大学大学院・院生)
- 3 魯迅「藤野先生」と「故郷」の比喩読みの授業—〈別れ〉に着目して  
上村文人(東京都立稲ヶ丘高等学校)
- 4 メタ物語としてのミニマル・ストーリーによる学習デザインの効果—芥川龍之介「蜘蛛の糸」の実践から  
佐藤多佳子(上越教育大学教職大学院) 高橋正邦(新潟産業大学附属高等学校)
- 5 小学校における長編文学教材を読む授業の可能性—宮澤賢治「銀河鉄道の夜」の実践を通して  
西川義浩(東京学芸大学附属世田谷小学校)
- 6 「やまなし」(宮澤賢治)教材化の一試行  
望月善次(元岩手大学)

#### ■第2会場 研究棟1階 小講義室D 司会 桑原隆(早稲田大学) 佐藤洋一(愛知教育大学教職大学院)

- 1 「意味を求める読み」を行う学習者はどのように方略を用いているのか—読者反応を基にした理解方略の意識化による学習デザインを通して  
上月康弘(上越教育大学教職大学院・院生)
- 2 Authentic Learning による伝統的な言語文化の学習デザインの検討  
近藤秀子(上越教育大学教職大学院・院生)
- 3 「納得」を軸に考えの拡充を図る指導の検討  
松本圭祐(京都教育大学附属桃山中学校)
- 4 物語を読んでいる時の脳活動の実際—2つの課題下でのfMRI実験の結果を通して  
小久保美子(新潟大学)
- 5 「精読」の方法をどのように学ばせるか?—Notice & Note (2013)を手がかりとして  
山元隆春(広島大学)
- 6 資質・能力育成と「中核的な教科」(国語科)の位置—「精査・解釈」「考えの形成」を中心に  
佐藤洋一(愛知教育大学教職大学院)

#### ■第3会場 研究棟1階 小講義室C 司会 植山俊宏(京都教育大学) 児玉忠(宮城教育大学)

- 1 第三項理論による文学的文章の教材化モデルの提案  
渡邊皆仁(広島大学大学院・院生)

2 <よい子>支援のための文学教育－太田正夫の「十人十色を生かす文学教育」を中心に

丸田裕理恵(広島大学大学院・院生)

3 多面的・多角的なクリティカルシンキングに関する一考察－国際バカロレアDP「日本語A:言語と文学」文学教材へのクリティカルシンキングを通して

石田まりこ(international sch of brussels)

4 短詩系文学教材の可能性－鑑賞から創作へ連携させる俳句の授業を通して

廣中淳(柳井市立柳井西中学校)

5 「場」との「縁」を結ぶ指導過程－短歌の鑑賞文の指導を手がかりにして

下田実(静岡大学(共同)大学院・院生/静岡市立安倍川中学校)

6 『君の名は。』において、なぜ三葉の〈破局の警告〉は父親に通じたのか？－コミュニケーションを起ち上げるための国語教育の可能性

渡辺哲男(立教大学)

■第4会場 研究棟2階 小講義室F 司会 難波博孝(広島大学) 藤森裕治(信州大学)

1 論理語彙を適切に使う力の調査

籠島千裕(栃木県立真岡北陵高等学校)

2 接続表現を中心とした論理語彙の活性化－段階的育成プログラムの開発

開田晃央(茨城大学教育学部附属中学校) 安暁彦(茨城大学教育学部附属中学校)

3 学習用国語辞典の語釈の難易度をめぐって

橋本修(筑波大学) 安部朋世(千葉大学) 関口雄基(筑波大学大学院・院生)

4 「配慮表現」としての「全然+肯定表現」

加古有子(至学館大学)

5 平仮名学習材の検討－文字に関する問いに着目して

長岡由記(滋賀大学)

6 書写における主体的・対話的な学びに関する研究－小学校低学年の文字の「整い」に着目して

篠崎祐介(玉川大学) 青木幹昌(高崎市立倉賀野小学校)

■第5会場 研究棟2階 中講義室D 司会 米田猛(富山大学) 河野順子(白百合女子大学)

1 話し合いにおける発言抑制行動がみられる児童の変容過程に関する研究

栗栖衣里奈(東京学芸大学大学院・院生)

2 読むことの学習における話し合いの機能(2)－小学5年生「新聞記事を読み比べよう」の読みが深まる過程における児童の役割分担を中心に

酒井千春(東広島市立御薊宇小学校)

3 教室における読みの相互作用とその自覚化－小5『いつか、大切なところ』の事例研究

佐々木智也(さいたま市立上木崎小学校)

4 読みの交流への参加スタンスの分析と考察

西田太郎(品川区立台場小学校)

5 創発を生みだす対話研究－創造的思考力を育む音声・文字提示型教材の開発

浅井哲司(厚木市立睦合東中学校)

6 小学校での討論を展開する能力の育成に関する一考察

北川雅浩(東京学芸大学連合大学院/葛飾区立中之台小学校)

■第6会場 研究棟2階 中講義室C 司会 中村敦雄(明治学院大学) 細川太輔(東京学芸大学)

1 「めあて・ふりかえり表」を利用した学習評価についての一考察

藤原隆博(江戸川区立船堀第二小学校)

2 自己評価力の伸長に国語科が果たす役割とは－小学校2年生の実践を通して

土屋晴裕(東京学芸大学附属大泉小学校)

3 医療人文学の構築と読解ルーブリック評価の開発－医療基礎科目「人間と文学」文学精読試案:森鷗外『牛鍋』を例として

入部明子(つくば国際大学)

4 習熟度を可視化するためのリフレクションペーパーの活用

毛利美穂(関西大学) 中尾瑞樹(関西大学)

5 国語単元学習における評価論の通時的考察－戦後初期(昭和20年代)と新単元学習期に着目して

勝見健史(兵庫教育大学)

6 国語教科書における言語活動例の提示形式と学習展開の実態に関する研究－まとめ(最終報告に向けて)

松本修(玉川大学教職大学院)

■第7会場 研究棟2階 中講義室B 司会 鶴田清司(都留文科大学) 阿部昇(秋田大学)

1 「言葉による見方・考え方」の具体化に関する一提案－文学教材の授業の場合 その①

森川拓也(桜花学園大学) 千種彰典(兵庫教育大学連合大学院・院生)

2 「言葉による見方・考え方」の具体化に関する一提案－文学教材の授業の場合 その②

千種彰典(兵庫教育大学連合大学院・院生) 森川拓也(桜花学園大学)

3 小学校における「百人一首」の授業－「きくこと」でひろがる和歌の世界

小林和馬(横浜国立大学大学院・院生)

4 暗記する『百人一首』から感じる歌へー教員養成の立場からみた、古典教育に今必要な「教師力」

三宅晶子(横浜国立大学)

5 古典の享受・継承に関する学習ー現行中学校教科書を中心に

有馬義貴(奈良教育大学)

6 日本語書記史からみた『宇治拾遺物語』の教材的価値ー学びのプロセスと日本語書記史を統合する学習材の開発

磯貝淳一(新潟大学) 森美智代(福山市立大学) 鈴木恵(新潟大学)

田中宏幸(安田女子大学) 松崎正治(同志社女子大学)

■第8会場 研究棟4階 多目的室D 司会 府川源一郎(日本体育大学) 吉田裕久(安田女子大学)

1 明治初期会話教科書の研究ー田中岩太郎著『童蒙會話篇』(1875)の場合 西本喜久子(元広島大学大学院・院生)

2 1910年朝鮮における日本語教授法の転換ー三土忠造と山口喜一郎の教科書編集方針の差異に着目して

KIM BOYE(筑波大学大学院・院生)

3 成城の国語調査と奥野庄太郎の国語教育ー語彙・漢字・聴く力

東和男(元福岡教育大学)

4 増淵恒吉国語教室における授業の実際ー都立日比谷高等学校時代の「学習記録」を手がかりに

後藤志緒莉(早稲田大学大学院・院生)

5 1956年、教材「走れメロス」の生成

佐野幹(宮城教育大学)

■第9会場 研究棟4階 多目的室C 司会 町田守弘(早稲田大学) 田中宏幸(安田女子大学)

1 日中の作文教育におけるジャンルの取り扱い 鄭一葦(筑波大学大学院・院生)

2 児童生徒作文コーパスから見る接続表現の使用実態 齋藤匠偉(筑波大学大学院・院生) 矢澤真人(筑波大学)

3 児童・生徒作文における派生語習得の実態調査 川邊貴英(筑波大学大学院・院生)

4 コンピュータを使用した文章産出における児童の思考に関する研究 堀田裕人(東京学芸大学大学院・院生)

5 思考ツールを活用した大学生の小論文指導ーピア・レスポンスによる文章力向上の試み 山田貴子(安田女子大学)

6 〈揺らぎ〉を生かした国語科授業研究ー授業研究と学習者研究の架橋を目指して 井上陽童(東京学芸大学大学院・院生)

■第10会場 研究棟4階 多目的室B 司会 三浦和尚(愛媛大学) 住田勝(大阪教育大学)

1 朗読音声における熟達の音響的指標 村田真樹(鳴門教育大学大学院・院生)

2 読み聞かせ活動に関わる人々の意味付けに関する研究ー学校における「意義」と「問題」に着目して

宮澤優弥(筑波大学大学院・院生)

3 言語技術教育としての一つの典型授業の開発ー「読むこと」領域における音読指導を通して

柳谷直明(上砂川町立中央小学校)

4 高等学校国語科における音声言語カリキュラム開発のための一考察ー高等学校国語科特有の資質・能力とは何かを探る

大滝一登(文部科学省)

5 教科書出現オノマトペの意味分化 古川理彩(茨城大学大学院・院生)

6 ことばの教育における「遊び」の可能性ー「ことば遊び」に焦点をあてて 立花大樹(都留文科大学大学院・院生)

■第11会場 研究棟4階 多目的室A 司会 塚田泰彦(関西外国語大学) 足立幸子(新潟大学)

1 一読総合法における読書指導ー林進治の読み方論を通して 三輪民子(横浜国立大学大学院・元院生)

2 初見の本のパートナー読書における質的思考分析ー問いをもちながら読むことに着目して

佐藤菜々美(東京学芸大学大学院・院生)

3 十歳が読む戦争ー戦争児童文学とどう向き合うか 岡田博元(お茶の水女子大学附属小学校)

4 感想の質を向上させるための比べ読みの可能性ー読書日記・自己評価活動と関わらせて

細恵子(東広島市立三永小学校)

5 米国における目的に応じたジャンルの指導 足立幸子(新潟大学)

6 国語教育と複言語複文化主義 横田和子(目白大学)

【理事会 管理棟2階 会議室 12:50ー13:50】

【総会 研究棟1階 大講義室 14:00ー15:00】

## コンピテンシーと国語科教育

登壇者：泰山裕（鳴門教育大学）

寺田守（京都教育大学）

森美智代（福山市立大学）

コーディネーター：藤原顕（福山市立大学）

【懇親会 18:30-20:30 福山ニューキャッスルホテル 2階 琴の間】

〒720-0066 福山市三之丸町8-16 JR福山駅南口より西へ徒歩3分

## &lt;第2日目&gt;

課題研究発表 研究棟1階 大講義室 9:30-12:00

\* 中講義室Aにて同時中継

## 国語教育における調査研究—第3回調査研究と教育政策・実践

登壇者：鶴田清司（都留文科大学）

佐渡島紗織・嶋田大海（早稲田大学）

細川太輔（東京学芸大学）

コーディネーター：中村敦雄（明治学院大学）

【研究部門会議 研究棟1階 小講義室B 12:10-12:50】

自由研究発表 研究棟 1・2階 第1～6会場 13:00-16:10/16:40

\* 3題発表後10分間休憩

## ■第1会場 研究棟1階 中講義室A 司会 吉川芳則（兵庫教育大学） 間瀬茂夫（広島大学）

## 1 説明的文章の文章理解に関する基礎的研究—語相互の関連付けと状況モデルの関係

畠田圭祐（東京学芸大学大学院・院生）

## 2 説明的文章の学習で深い学びを成立させるための学習デザイン

五十嵐啓滋（上越教育大学教職大学院・院生）

## 3 説明的文章の読解方略における条件的知識の指導過程モデルの検証—中学生への実験授業を通して

古賀洋一（島根県立大学）

## 4 論説・評論の読みの指導でいかに学習者の〈自分ごと〉認識を引き出すか—高校1年生を対象とした実践

幸坂健太郎（北海道教育大学札幌校） 難波健悟（岡山県立津山東高等学校）

## 5 論理的な文章教材における具体的事例の研究（中・高）

國府田祐子（松本大学）

## ■第2会場 研究棟1階 小講義室D 司会 佐藤明宏（香川大学） 幾田伸司（鳴門教育大学）

## 1 国語の教師力向上に資する指導主事の関与の在り方に関する研究

本間隆司（横浜国立大学大学院・院生）

## 2 国語科におけるPCKについての研究—教師の批判的思考に関する認識を中心に

富安慎吾（島根大学）

## 3 臨床こころ学と法教育—法学部政治学科出身の国語科教員による方法と内容の実践報告

札埜和男（岡山理科大学）

## 4 「主体的・対話的で深い学び」に向かうカリキュラム・マネジメント—管理職の役割・国語科の役割を中心に

加藤俊志（神奈川県立新羽高等学校）

## 5 国語科と音楽科における教科横断的な学習—鑑賞と批評を視点として

関向央奈（北海道教育大学大学院・院生）

## 6 「国語教育と英語教育の連携」の目的論—言語能力の向上に関する特別チームの議論を端緒に

柁木貴之（東京理科大学）

## ■第3会場 研究棟1階 小講義室C 司会 河野智文（福岡教育大学） 浮田真弓（岡山大学）

## 1 木村文助の綴方教育論の検討

太郎良信（文教大学）

## 2 『国語教育』誌における業者表現指導に関する考察12

渡邊洋子（常磐大学）

- 3 国分一太郎の綴り方教育論—相手意識を育てる「綴る生活」指導 佐内信之(環太平洋大学)
- 4 日本作文の会における「文筆活動法」の教育的機能—「1962年度活動方針」以前の「作文法」との比較を通して  
菊田尚人(筑波大学大学院・院生)
- 5 戦後児童詩教育の研究③—雑誌「きりん」初期の題材に見る芸術性 今宮信吾(プール学院大学)
- 6 言語技術教育からみた大村はま『中学作文』の意義(2) 大内善一(元茨城キリスト教大学)

- 第4会場 研究棟2階 小講義室F 司会 村井万里子(鳴門教育大学) 中西淳(愛媛大学)
- 1 読書感想文の添削指導 西山悦子(台東区立東泉小学校)
- 2 口頭作文(小学一年生)の添削指導研究 小川智勢子(三郷市立吹上小学校)
- 3 日記指導の評価の技術—文章構成、段落の主要語句、表記 増田泉(世田谷区立砧南小学校)
- 4 作文添削時における教師の着眼点—言語形式面を中心として  
松崎史周(日本女子体育大学) 各務めぐみ(筑波大学大学院・院生) 中川乃美(筑波大学大学院・院生)
- 5 中・高等学校における論理的文章の添削・評価の研究 長谷川祥子(青山学院大学)

- 第5会場 研究棟2階 中講義室D 司会 山元悦子(福岡教育大学) 若木常佳(福岡教育大学)
- 1 読みの相互評価で「資質・能力」を育てる文学の授業 安達真理子(青山学院大学大学院・院生/立教小学校)
- 2 国語科における学習者間の相互評価 末利容子(東京学芸大学附属特別支援学校)
- 3 「聞くこと」の指導の研究—能力の細分化と機能的なメモを用いて 明尾香澄(奈良教育大学大学院・院生)
- 4 話し合い学習指導に関する実践的研究—小学校2年生を対象とした授業の分析を中心に 上山伸幸(中国学園大学)
- 5 「話すこと・聞くこと」の指導研究—小中学校の国語科指導において 篠原京子(常葉大学)
- 6 対話的コミュニケーションを育てる「話すこと・聞くこと」の実践研究—「笑い」について考える 坂本喜代子(帝京大学)

- 第6会場 研究棟2階 中講義室C 司会 松山雅子(大阪教育大学) 奥泉香(日本体育大学)
- 1 主体的・対話的で深い学びを生み出す小学校国語科の単元開発に関する研究—映像の制作活動を通して  
有松浩司(竹原市立吉名小学校)
- 2 マルチモーダル・テキストを活用した国語科教育の研究—“Doing Ads”(EMC,2008)における「非営利広告」を活用した学習活動を中心に  
羽田潤(兵庫教育大学)
- 3 国際バカロレア Japanese A におけるメディア・リテラシー 中村純子(東京学芸大学)
- 4 絵本モニタージュの研究Ⅱ—まるい大きな正面顔(いないいないばあ)の仕掛けの分析を中心に  
余郷裕次(鳴門教育大学大学院)
- 5 「見る」を含む学習の系統性—小中国語科教科書(光村)分析を中心に 坂東智子(山口大学)

公開講座 第7会場 研究棟2階 中講義室B 13:00—16:10

学校で取り組む国語科授業研究の展開①—授業リフレクション研究による学校研究

登壇者：澤本和子(日本女子大学名誉教授)

和田信介(広島市立安佐中学校)

梅津健志(柏市立酒井根東小学校) コーディネーター：宗我部義則(お茶の水女子大学附属中学校)

ラウンドテーブル 研究棟4階 第8～11会場 13:00—16:10

- 1 国語科と教育ICT—おとなの都合と子どもの未来(第8会場 研究棟4階 多目的室D)  
コーディネーター：野中 潤(都留文科大学) 発表者：植田恭子(大阪市立昭和中学校)  
二田貴広(奈良女子大学附属中等教育学校)  
渡邊光輝(お茶の水女子大学附属中学校)
- 2 高等学校文学教育のこれから—文学研究に基づいた文学教育(第9会場 研究棟4階 多目的室C)  
コーディネーター：難波博孝(広島大学) 発表者：須貝千里(元山梨大学)  
齋藤知也(山梨大学)

中村龍一 (松蔭大学)  
田中実 (元都留文科大学)

### 3 国語科における学習用語のあり方(第10会場 研究棟4階 多目的室B)

コーディネーター：工藤哲夫 (京都ノートルダム女子大学) 発表者：中村和弘 (東京学芸大学)  
片山守道 (お茶の水大学附属小学校)

### 4 「社会に開かれた教育課程」と言葉の教育(第11会場 研究棟4階 多目的室A)

コーディネーター：有働玲子 (聖徳大学) 発表者：稲井達也 (日本女子体育大学)  
高見京子 (香川大学・四国学院大学・非常勤)  
小沢貴雄 (文化庁)

## 6. 会場アクセス



会場へのアクセス: 無料臨時直行バス(約 10 分)  
○乗り場: 駅北口(福山城側)  
11月4日(土) 8:30/8:40/8:50/9:00 発  
11月5日(日) 8:35/8:55/9:05 発

会場へのアクセス: 在来線バス タクシー  
**\* 在来線バスは大学前に着かないものがありますのでご注意ください(時刻は中国バス HP をご参照下さい)**  
○在来線バス: 駅南口②番乗り場(約 15 分)  
▶ 手城経由に乗車  
▶ 大学前に着かない場合は港町1丁目下車  
○在来線バス: 駅南口⑨番乗り場(約 15 分)  
▶ 新浜循環線に乗車 四ツ樋口下車  
○循環バス まわローズ・赤: 駅南口⑩番乗り場  
▶ 赤に乗車 約 10 分 毎時 05/25/45 分発  
▶ リーデンローズ前下車 会場まで 800m 程度  
○タクシー乗り場: 駅南口(約 10 分 ¥1000 程度)  
**\* 降車場所をみなと公園側と指定して下さい**

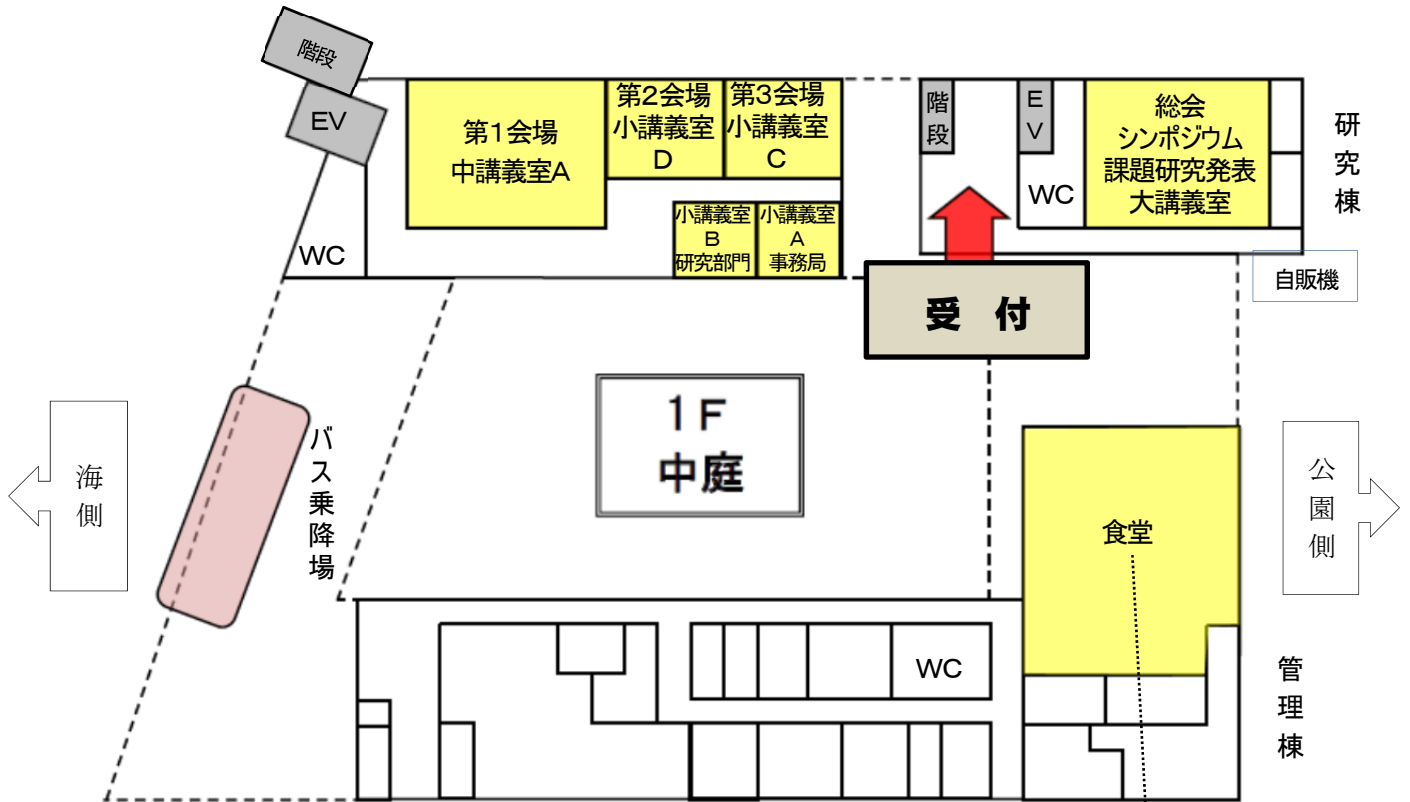


福山駅へのアクセス: 無料臨時直行バス  
○乗り場: 大学前バス乗り場  
11月4日(土) 17:45/17:50/18:05/18:15 発  
11月5日(日) 16:20/16:35/16:50 発

駐車場  
道路をはさんで大学東側に駐車場がありますが、台数に限りがありますのでご注意ください

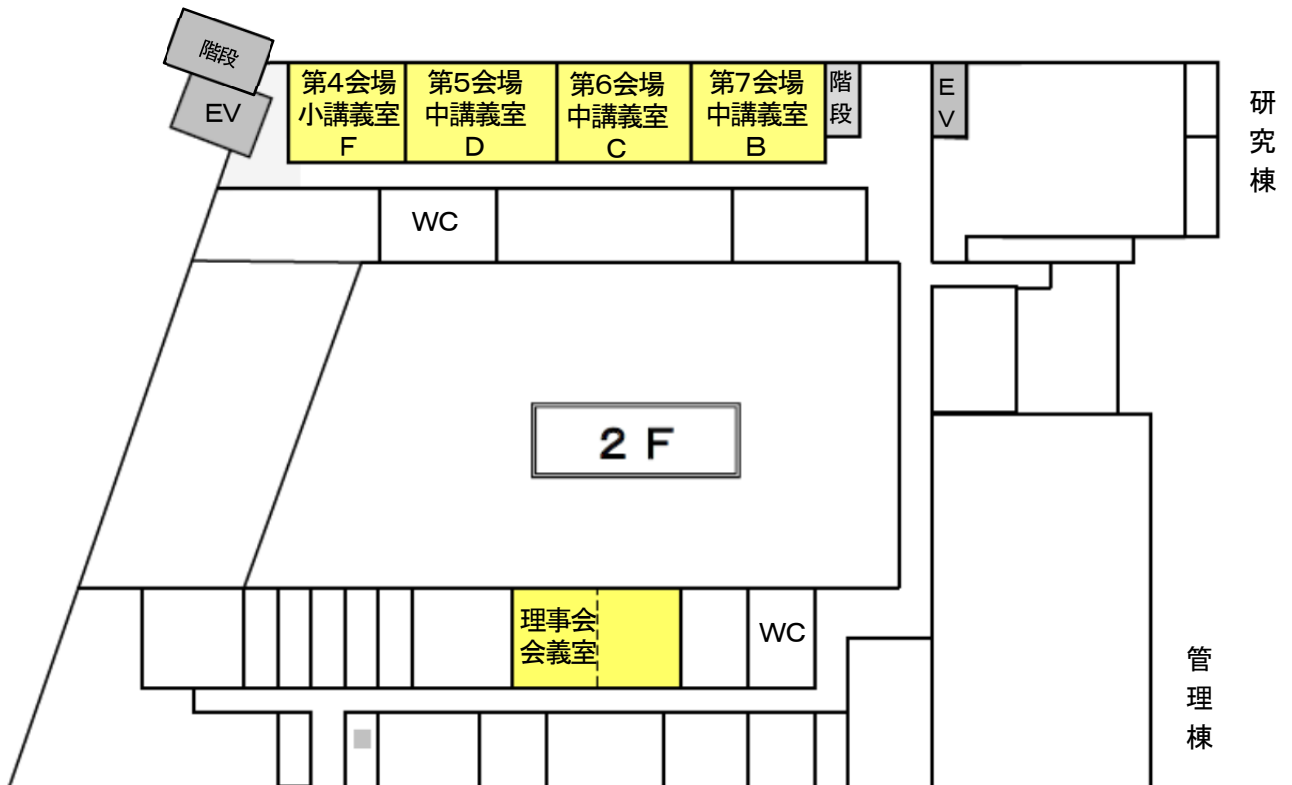
福山駅へのアクセス: 在来線バス タクシー  
○タクシー: 会社の電話番号は受付でお尋ね下さい  
**\* 乗車場所をみなと公園側と指定して下さい**  
○在来線バス(時刻は会場受付でお尋ね下さい)  
▶ 港町1丁目、または四ツ樋乗車  
○循環バス まわローズ・青: リーデンローズ前乗車  
▶ 青に乗車 毎時 04/24/44 分発

7. 会場・昼食等案内

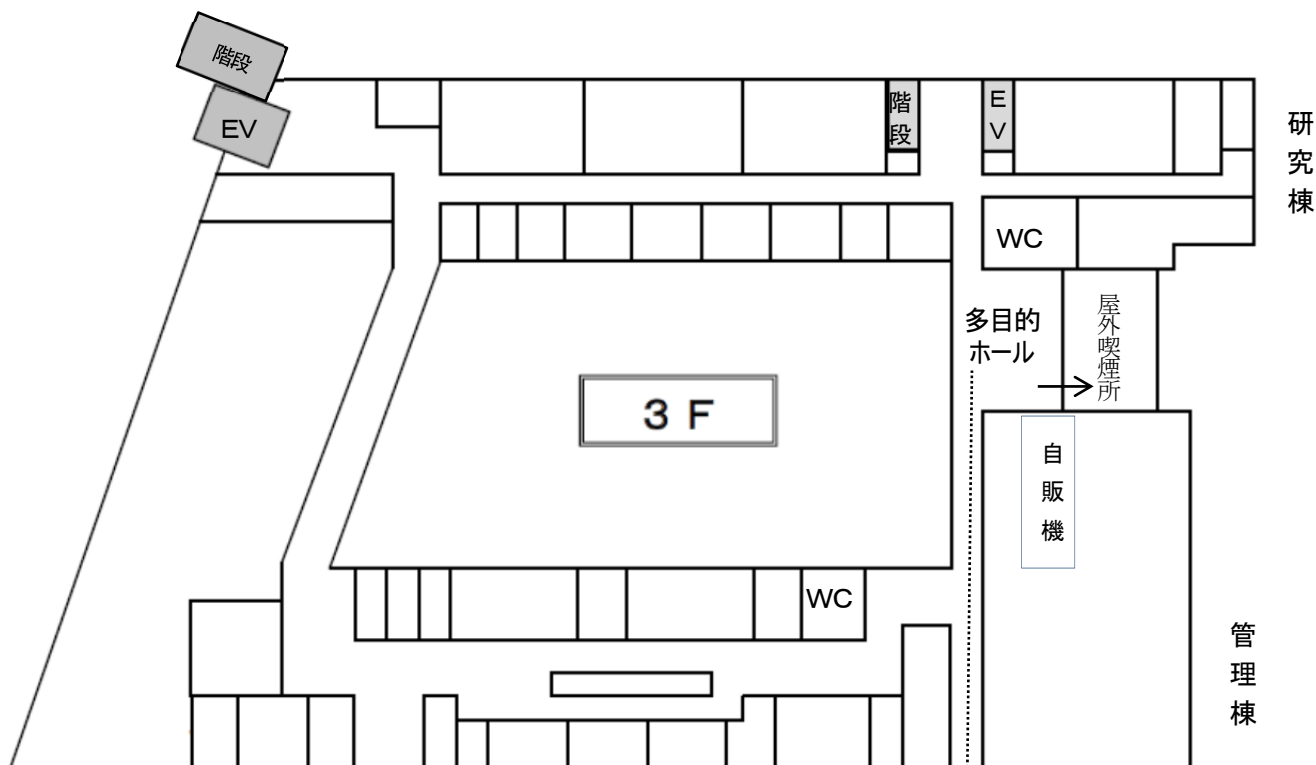


【昼食】

- 事前に注文された弁当は食堂にてお渡しします。当日の弁当販売はありません。
- 食堂は営業していませんが、喫食・休憩スペースとしてご利用可能です。
- 食堂には、飲料を用意していますのでご利用下さい。
- 大学付近にはコンビニが、また飲食店が入った商業施設（会場から1Km程度）もあります(上図参照)。

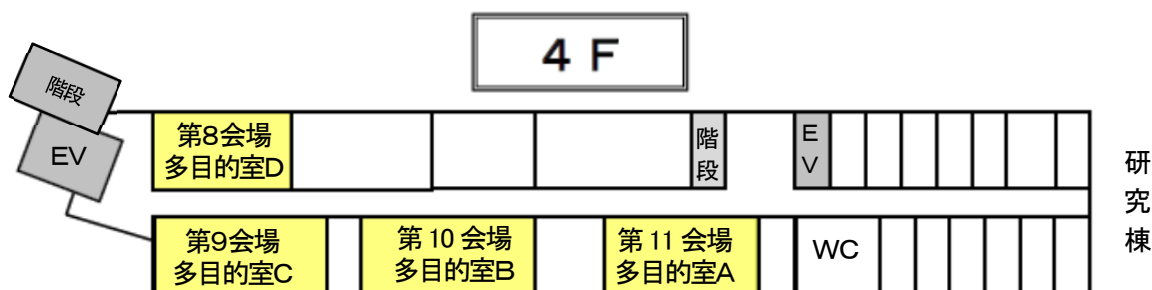






#### 【多目的ホール他】

- 座席がありますので、昼食・休憩にご利用下さい。
- 多目的ホールから屋外喫煙所に出ることができます。



#### 8. 発表等について

- 自由研究発表、ラウンドテーブル、公開講座については、配布資料がありましたら、A4サイズで150部ご持参下さい。大会事務局では、印刷の対応はできかねますのでご了承下さい。
- 課題研究発表については、配布資料がありましたら、450部ご持参下さい。
- 発表資料は、発表者が会場までご持参下さい。会場にて担当スタッフまでお渡し頂ければ設置します。
- 発表資料を、事前に大会事務局で預かることはできかねますのでご了承下さい。
- 発表資料の残部については、発表者が各自お持ち帰り下さい。
- 分科会に参加せず発表資料のみを取る場合は、発表終了後をお願いいたします。
- 発表にプレゼンソフトを利用する場合、発表者がパソコンをご準備下さい。接続は、VGA (D-sub15ピン) ケーブルのみです。HDMI端子やMacとの接続が必要な場合は、アダプターをご準備下さい。

#### 9. 荷物一時預かりについて

- 旅行用の大型かばん等については、預かり所を1階・小講義室A(上図参照)に設けますので、ご利用下さい。
- お預けの際は、預かり票をお渡しします。貴重品については自己管理をお願いいたします。